

教祖 140 年祭

学生おぢばがえり大会

賑やかに開催



第 680 号

発行所

天理教静岡教務支庁
〒425-0013
焼津市岡当日1番地

TEL (054) 626-1333
FAX (054) 628-4615
Email : skyou@live.jp



「教祖140年祭 学生おぢばがえり大会」が3月28日、本部中庭にて開催され、静岡教区学生会は27〜29日の日程で参加した。

本年1月の教祖140年祭に伴い、例年の「春の学生おぢばがえり」ではなく、10年ぶりの「大会」として行われた。

今年の教区参加者は68名で、合流した山名学生会と合わせると約80名。昨年の13名から約5倍以上の人数が集まった。

27日には、前夜祭「春Fes140」が開催され、教区学生会は「ホタテのバター醤油焼き」の模擬店を出店。

学担が調理し、学生が売り子となって提供した。売れ行きは大繁盛で、用意した600食は1時間も経たず完売。約40店舗中3番目の速さで売り切れる盛況ぶりだった。

28日の大会当日は、9時過ぎに山名詰所を

出発。神苑にて開始を待った。

式典では、真柱様の代読に立たれた中田善亮表統領より「これからもしっかりと勉学に励むとともに、若いときだからこそ教理を学び、実行して、揺るぎ

ない信仰信念を養ってほしい」「ご存命の教祖のお働きとお導きを信じて、この道を歩んでくれることを」とお言葉があり、学生らは心ひとつにこれからの信仰生活に生かすことを誓い合った。

29日は、9時に詰所を出発。2泊3日のおぢばがえりを終え、帰路に就いた。

◇ 今年は、学生が中心となり半年前から企画し、当日の進行も学生主導。スタッフの学生は何度も会議を重ね、班分け、行事内容、時間割など細かく計画してきました。

またSNSで募集を行ったり、少ひの参加

者に声をかけたり、積極的な呼びかけをしてくれました。

そのおかげで、初参加の子、未信者の子など、皆が楽しんでる姿が何より印象的でした。

そして、特に感心したことは、スタッフが先の先まで考えていることです。LINEのグループ名は「静岡の未来を作るぞ♡」。この大会がゴールではなく、10年、20年後の静岡のお道の未来を学生同士で語っているんです。

これからのお道を担うのは今の学生たち、若者です。学生担当委員会として、引き続き若年層の育成、つなぎの上に励ませていただきます。これからもお力添えの程をお願い致します。ありがとうございます。

教区学生担当委員長

岡野多吉

少年会 わかぎの集い開催



少年会静岡教区団（芹澤常太郎団長）は3月15日、静岡教務支庁にて「わかぎの集い」を開催した。

これは、小学6年生から中学3年生の少年会員とサマースクール静岡に参加した隊員の親睦をはかり、今年度の参加推進と、サマースクール卒業生へのお祝いの場を設けたもの。

当日、9時半より受付開始。各支部から育成会員と参加者が次々と到着し、10時より団長を芯におつとめが行われた。

その後、団長より挨拶。おちばでのひのきしんの喜びを振り返り、少年ひのきしん隊の「人のためつくすよるこび ひろげよう」のテーマについて語られ、「今年も友達を誘ってサマースクール静岡へ参加してほしい」と促した。

続いて、この春に中学校を卒業する、サマースクール参加者11

名に記念品が授与された。また、今回参加できなかった卒業する隊員にも、支部を通して記念品が手渡された。



その後、班に分かれて浜当目海岸へ。心地良い浜風のなか、班毎にゴミ袋を手に燃えるゴミ、空き缶やペット

ボトルなどを拾い、海岸清掃ひのきしんを行った。参加者は互いに協力しながらひのきしんに励むことで、緊張気味だった雰囲気も和らぎ、次第に打ち解けた。

12時より、教務支庁の参拝場にて会食が催された。婦人会による

手作りの唐揚げ、焼きそば、フランクフルト、フライドポテト、オーブンサンド、デザートが用意され、美味しい会食をともに互いの会話を弾み、楽しいひと時を過ごした。

食事後、学生会タイムとして活動紹介のビデオが上映され、教区学生担当員会作成の教祖140年祭学生おちばがえり大会のPR動画を視聴。中学3年生への

参加案内が行われた。

続いて、こどもおちばがえりの新しいテーマソング「みちのこキラリ」のダンス動画が披露され、初めて耳にする曲に聞き入っていた。

そして、動画のQRコードが配

布され、最終日のステージ上演が告知された。最後に、親神様、教祖、祖霊様を礼拝してサマースクール静岡での再会を誓い、解散した。

参加者	少年会員	30名
	育成会員	26名
計		56名





こどもおちばがえり R189 少年ひのきしん隊本部練成会



第34回 サマースクール静岡 隊員募集

- 趣 旨 『サマースクール静岡』は、わかぎである中学生が「こどもおちばがえり」を通して、おちばでのひのきしんを中心に、教区内の同世代の仲間との合宿生活の中で、たすけあいを学び交流を深める静岡教区独自の練成会である。それは、「しこみ・ふせこみ・たのしみ」の3つの柱を軸に、少年ひのきしん隊の「人のため つくすよろこび ひろげよう」を合言葉に、明日の立派なようばくに育つ素地を作り、道の後継者として育成することを目的とする。
- 対 象 静岡教区内に在住、あるいは教区内教会から推薦される、健全な小学6年～中学3年生で、団体生活に支障のない者。
- 日 程 ●前半隊 7月26日(日)～7月31日(金) (5泊6日)
●後半隊 7月30日(木)～8月4日(火) (5泊6日)
- 参加御供 一人10,000円 ※但し、兄弟姉妹で参加の場合は二人目から5,000円とします。(途中入除隊・外泊の場合等日割りでの返却は致しかねます)
- 宿 舎 第2母屋(天理市豊田町36-1)
- 募集人員 前半 40名 後半 40名
- 申込について 詳細は各教会に配布した募集要項をご覧ください、各支部少年会委員までご連絡ください。
- 申込締切 口頭連絡などによる1次締切：**6月25日**
※まだ確実ではないけれど、参加は希望するの段階でも、その旨を育成委員長に口頭で結構ですので、ご連絡いただけるとありがたいです。



中遠支部婦人会(中山友紀子支部主任)は3月1日、山名大教会を会場におつとめまなび総会を開催した。9時半の受付開始とともに次々と会員が集し、10時より座りつとめ、十二下りのてをどり、鳴物は役員がつとめ、組ごと七交代の総立ちでつとめられた。おつとめ終了後、支部主任の挨拶で締めくくられた。

その後、会場を神殿より食堂へ移し、和や

中遠支部婦人会
おつとめまなび総会

かに一同お弁当を頂いた。午後からは、賑やかにバザーならび有志の教会が参加してのフリーマーケットを行った。手作りのエプロンや、こんにゃく、野菜等が販売され、支部会員が交流を図る場となり、笑顔あふれる楽しい時間を過ごす事ができた。

当日は、120名余りが参加。皆でおつとめを真剣に勇んでつとめる事ができ、喜びの一日となった。



静岡教区

全支部おぢばがえり



みんなで帰ろう
親里へ

立教189年

5 / 30 土 31 日

【教区統一行事】

31日 9:30より「本部境内地ひのきしん」
11:00より「東礼拝場にておつとめ」

詳細は教区・支部情報ねっとでも確認できます。

教区・支部 情報ねっと

<http://tenrikyo-regional.net>

